

今月のテーマ

成功へのスーツはジャストサイズ厳守！

最近のカジュアルのファッションはルーズ オーバサイズが流行のようです。ビジネスのスーツにおいても、タイトから少しオーバーサイズに変化している様です。

一時バブル期は肩パットの入ったダブダブのダブルブレストがカッコいいとされた時代もあります。しかしビジネススタイルにおいては、街中のファッションとは別物なのです。

多少流行に左右されることもあります、ビジネスではあくまでもジャストフィットが正解です。また体型に自信がないと、つい服のサイズでごまかそうとする。最近太ったから、大きめにしよう！細くて貧弱だから、大きめの服で大きく見せよう！などそれは逆効果です。体型に合っていないスーツを着ているだけで仕事もルーズなんじゃないかな？との第一印象を抱かせる可能性があります。既成のスーツやシャツを購入する場合もきちんと試着をお勧めします。

男性はめんどくさがり屋が多いので、俺はLサイズだからこれで合うはず！じゃなくて、パートナーさんと一緒にチェックしていただくのもいいと思います。

自分の体型には関係なく、ビジネスの服装はジャストサイズのルールを守りましょう。

印象が変わり、仕事もスムーズに進むことに繋がります。

同じ人が、同じスーツでも



イベント開催のお知らせ

● 成功へのスーツ着こなしセミナー & 2022年春夏生地ジャケット採寸会

9月22日(木)AM18:30～19:30

第一印象は視覚55%聴覚30%で決まるといわれています。着こなしが大切なのです。でもスーツの着こなしにはセンスはいりません。スーツ着こなしのルールをお伝えさせて頂きます。ご参加ください

春生地の見本が入荷してます。ご覧ください

日時：2022年9月22日(木) 18:30～19:30

場所：京都府中丹勤労者福祉会館

お申し込み方法：09088272132小笠原

ジャストフィットの革靴

私は、靴も好きです。ジョンロブやエドワードグリーンに靴にあこがれます。

最近気になるのが、オーダーの靴です。世界に一足の自分の足にジャストフィットの靴はどんな感覚なのだろう。ジャストフィットの靴は健康にも良いらしい。

良い靴は良い出会いの場所へ連れて行ってくれるんだそうです。



イタリアと英国生地の違いって？



今シーズンはアパレルはほぼ確実に値上げ、それ以外の業種でも円安の影響でほとんどの生地が2～3割程価格が上がっています。オルディートは出来るだけ値上げをしないように工夫をしていきたいと思っています

生地は色々な国で、織られている。数少ないが日本でも織っていて、その他ここ最近では中国の生地も少なくない。だがやはりオーダースーツの生地といえばイギリス、イタリア、フランスなどが有名ではないだろうか。、パリッと硬い鎧のようなスーツの中に人が入る、という考えが英国(ブリティッシュ)スーツの特徴だ。硬い素材で、重くて、厚い。イギリスの気候にも合っているし、窮屈な服は、宮廷文化とも合っていた

イギリス生地に罫系(よこいと)を双系にしている系が多いのに対して、イタリアの生地は単系(たんし)といって、1本だけで織っている生地が多い。1本の糸だから、柔らかさがある。

着ていて馴染む、シワにはなりやすいけれど美しい、そんな服地が多いのがイタリア生地の特徴ともいえる。

ちなみに、イギリス生地に比べたならばシワにはなりやすい傾向はあるけれど、そもそもウールの質がよければ、シワの復元力は高い。

ハンガーにかけて休ませればスツと戻る傾向がある。

今月のスタッフひとこと

また暑い日もありますが、少しずつ秋を感じる日もあります。秋冬の生地見本も入荷してまいります。

お早めに、コートやスーツのお仕立ての準備をしてください。ショールやマフラー手袋なども扱えますので、お声がけください。